

# 弥生時代研究会 『籾』10号記念号刊行のご案内

弥生時代研究会事務局 佐藤祐輔（会長：斎野裕彦）

〒982-0813 仙台市太白区山田北前町 33-59

Tel:090-8563-1054

e-mail:yusuko0820@gmail.com

1979年から宮城県を中心に活動を行ってきた弥生時代研究会の会誌『籾』10号を記念して論文集を刊行いたします。北海道・東北・関東地方を中心とした弥生文化研究の論考を17本収録しました。また、会の活動を振り返る座談会の記録も掲載しています。みなさまの研究に役立ちますよう、ご案内いたします。

## ≪収録内容≫ 五十音順

佐藤信行・太田昭夫・藤原二郎・斎野裕彦 相澤清利・日下和寿・佐藤祐輔・三浦一樹	【座談会】弥生時代研究会のあゆみ
佐藤 信行	回想 40 年
青山 博樹	ふたつの崎山囲式
石川 日出志	高田B式土器の形成過程をどう考えるか—東北弥生文化再考の試み—
小玉 秀成	桜井式甕書
小林 高	足洗式・阿玉台北式の再検討と文化的特質
斎野 裕彦	「打棒」あるいは「刈払具」と称される木製品について
坂本 和也	弥生時代墓地の立地と構造—福島県天神原遺跡を中心に—
佐藤 剛	続縄文時代前半期の土器研究の現状について
佐藤 由紀男・阿部 理絵	湯舟沢式土器と赤穴式土器について
佐藤 祐輔	福島盆地における弥生中期後半の生業を探る —福島市勝口前畑遺跡の土器圧痕調査—
関根 史比古	浮線文土器群における沈線文技法—綾杉文から三角連繫文へ—
妹尾 一樹	仙台平野における縄文—弥生遺跡の変遷
高瀬 克範	レプリカ法からみた本州島東北部の初期農耕
鶴来 航介	木器の使用と保管
轟 直行	久ヶ原式土器出現期の分布圏に関する検討
根岸 洋・大上 立朗	東北地方における弥生前期・中期の碧玉製管玉
三浦 一樹	北上川流域における大洞A'式土器から青木畑式土器への現在の理解
森 貴教	東北地方北部の柱状片刃石斧をめぐって—系譜と時期の検討—

販売価格 2,000 円（送料込） A4判 約 190 ページ（予定） 2021 年 3 月中旬刊行予定

## 申込方法

上記事務局アドレスに、氏名・住所・電話番号・希望冊数を連絡ください。折り返し、料金と振込先を連絡します。まとめた購入も受け付けます。

※公費で購入される場合は、六一書房での販売をご利用ください。

現在、学習会はオンラインで開催しています。詳しくは Facebook ページをご覧ください。